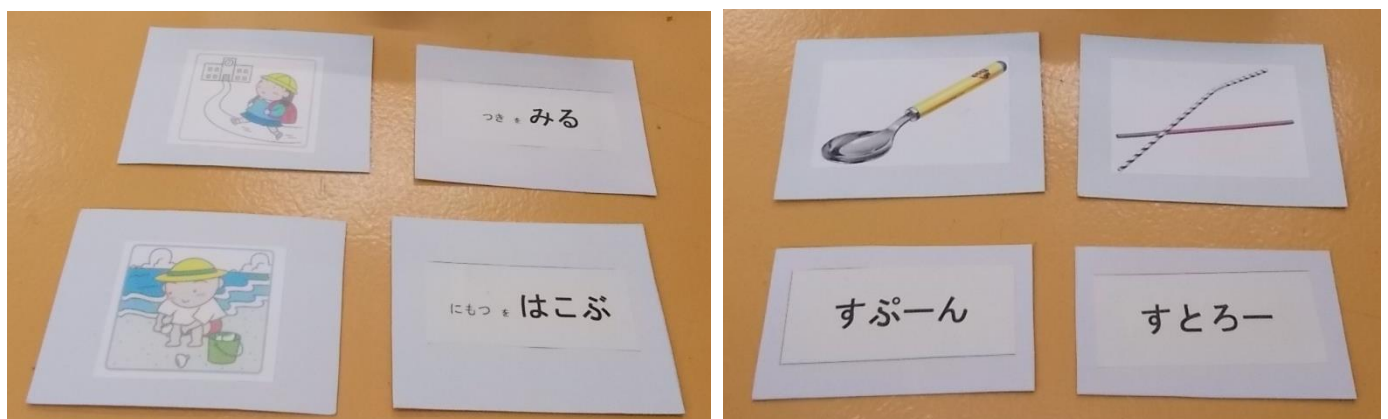


教材教具名	ことばのカード	分類	記号を使う学習—単語
		授業名	国語 個別課題学習
ねらい	・名詞、形容詞、動詞の学習および文構成の学習。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・絵カードを見せ「何?」「何してる?」と問い、答えさせる。
- ・文字カードと絵カードのマッチングをさせる。

<材料>

- ・厚紙、イラスト

<工夫点>

- ・身近なことばを集めた。

<効果>

- ・理解できる語が広がり、表出することばが増えた。

教材教具名	動詞パズル 動詞マッチング	分類	記号を使う学習—単語
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙を増やす。 ・ 動詞を知る。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ 『動詞パズル』 イラスト合わせから取り組む。イラストを合わせた後に声に出して読む。
- ・ 『動詞マッチング』 イラストを見て、相応しい単語カードを選ぶ。反対に、単語を読んで、相応しいイラストカードを選ぶ。

<材料>

- ・ 画用紙、ラミネートフィルム、ファイル、マジックテープ

<工夫点>

- ・ ゲーム感覚で行えるように、パズルから取り組んだ。

<効果>

- ・ 絵柄の異なるカードや絵本でも、相応しい動詞を答えることができるようになった。

教材教具名	動詞・助詞の学習	分類	記号を使う学習—文章
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・イラストに合う動詞や助詞を選ぶことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・児童の実態に合わせて、動詞もしくは助詞のチップを外しておく。
- ・イラストに合う動詞もしくは助詞を選ぶ。
- ・完成した分を声に出して読む。

<工夫点>

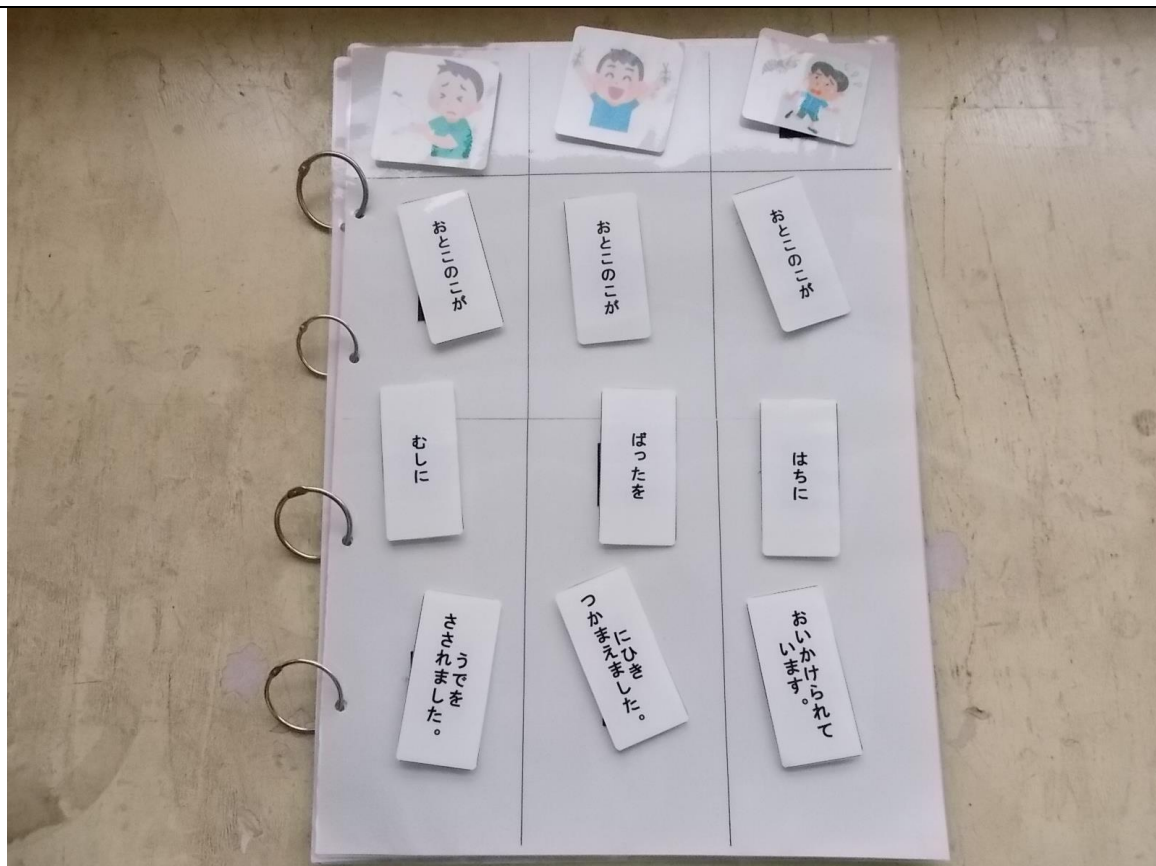
- ・児童の実態に合わせて、動詞か助詞の学習ができるように、文字チップを分けた。
- ・色を3色に分けて分かりやすくした。

<効果>

- ・担当している児童は、助詞の学習をしていた。はじめは間違いも多かったが、練習を重ねることで正しく助詞を選ぶことができた。日常生活でも正しく使えるようになるとうい。

教材教員名	三語文をつくろう	分類	記号を使う学習—文章
		授業名	国語（中学部）
ねらい	・イラストをみて文をつくることができる。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・イラストを提示して、単語カードを用意する。

<材料>

- ・A3用紙 ラミネートフィルム マグネットテープ 穴あけパンチ リング

<工夫点>

- ・「だれが」「なにを」「どうした」をページごと区切っておくことで、ひとりで取り組める課題になった。すぐに出来てしまう場合は問題数を必要に応じて増やしたり、単語カードのダミーを入れたりすることで自分で悩んで考える場面を作ることができた。

<効果>

- ・マジックテープで作ることで、誤答してもすぐに生徒が自分ではがし、貼りなおすことができた。
- ・プリント学習では、間違えると消しゴムで消すことが難しく（力のかけ具合の調節が上手ではないため）プリントがくしゃくしゃになってしまったり、破れてしまったりして生徒自身もイライラする様子がみられたが、この教材を使用してから集中して取り組む様子がみられた。

教材教具名	小銭が混ざらない財布	分類	記号を使った学習ーお金
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・財布の中で小銭が混ざっていることで支払いの苦手意識、エラーを無くす。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・分別してお金を入れる、金種をわかりやすく入れる

<材料>

- ・固いスポンジ、ポーチ、お金

<工夫点>

- ・固いお金にお金を差し込めるようにし、金種がわかりやすく、財布の中で混ざりにくくすることで支払いしやすくした。

<効果>

- ・買い物学習の支払いがスムーズになった

教材教具名	お金のまとめり	分類	記号を使った学習ーお金
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・金種の変化を一目でわかるようにする。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・板をはがす。

<材料>

- ・木の板、お金の模型、ファスナーテープ。

<工夫点>

- ・1円が5枚集まると5円になる等のお金のまとめりが一目でわかるようにした。

<効果>

- ・金種やまとめりの理解。

教材教員名	お金の学習	分類	記号を使った学習ーお金
		授業名	数学（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された金額に対してぴったり硬貨を選ぶ。 ・金額の大小関係を覚える。 		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・商品カードから 1 枚選び、金額を確認する。その後、金額に合わせてぴったり合う硬貨を選び、教員に硬貨を支払う練習をする。
- ・机上の両端に〇×を置き、真ん中にお小遣いとして硬貨を置く。商品カードを順番に提示し、お小遣いの範囲で買えるか買えないか選び、〇×に分けていく。

<材料>

- ・商品のイラスト（商品名、金額、イラスト） ・〇×カード ・硬貨（本物、カード）

<工夫点>

- ・同じ教材で商品の支払い練習や大小関係の理解など幅広く学習を展開できる。

<効果>

- ・繰り返し学習を行うことで定着をはかれる。カードゲーム感覚で学習に取り組むことができる。